

2020/08/05

一般社団法人
アルミ配管設備工業会
代表理事 入江孝弘



国土交通省にアルミ配管設備工業会の取り組みについて説明

2020/06/24、理事メンバー4名で、国土交通省 大臣官房官庁営繕部 設備・環境課へ訪問し、アルミ配管設備工業会の設立趣旨と取組内容の説明をいたしました。

現状、国内の冷媒管は、銅管による施工がほぼ100%であり、銅の枯渇等が発生した場合に材料の供給が懸念されること、その代替システムとなり得るアルミ冷媒配管システムについて、当工業会の取組状況などを、規格書（APEA1001, 2001）、指針（APEA3001）を用いて詳しく説明し、規格化の状況や施工上の留意点等について活発な質疑応答を行いました。

冷媒管については、公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）において、銅管及び鋼管の仕様が示されていますが、国土交通省としても、標準仕様書はあくまで「標準的な仕様をとりまとめたもの」であり、ここに記載された仕様以外のものを使ってはならないとしているわけではないとのことであり、発注者の判断によりアルミ冷媒配管システムの採用の可能性を確認することができました。

工業会としても、より一層の品質・信頼性等の確保や全国的な市場性の確保ができるよう、引き続き取り組んでまいります。